

待望の「晩秋の阿蘇山」が八女にやってきます。

田崎作品の常設展示が11月21日(水)から生まれ変わります。



▲「晩秋の阿蘇山」(1967年) 111.0×144.0

八女市田崎廣助美術館は、長野県軽井沢にある田崎美術館より田崎画伯の作品を借り入れて定期的に展示替えを行っています。今回は昭和42年(1967年)日本芸術院会員・日展常任理事となられた記念すべき年に描かれた「晩秋の阿蘇山」(第10回日展出品)をはじめ、新規に借り入れた作品を展示する予定です。田崎の世界観を満喫できる作品と必ず出会えると思います。八女市田崎廣助美術館に気軽にお越しください。

●問合せ先 八女市田崎廣助美術館 ☎0943-24-8304

※展示作品入れ替えに伴い11月8日(金)～20日(水)の期間は臨時休館とします。

◆八女市田崎廣助美術館

当館は、八女市立花町出身の洋画家で文化勲章を受章した田崎廣助(本名 廣次:日本芸術院会員)の顕著な功績を称え、近代絵画の系譜をひく優れた作品や資料を収集、保存、展示しています。

◆田崎廣助 略歴

1898年	八女市立花町北山に生まれる
1911年	福岡県立八女中学入学
1916年	福岡師範学校入学
1920年	上京、安井曾太郎に師事し、坂本繁二郎の知遇を得る
1926年	題13回二科展に初入選
1932年	渡欧しパリに留学
1934年	帰国、題21回二科展に特別展示
1937年	東京都練馬区に自宅とアトリエ構える
1966年	軽井沢に別荘とアトリエ構える
1967年	日本芸術院会員推挙。日展常任理事就任
1973年	ブラジル政府から最高名誉賞・文化章受章
1975年	文化勲章受章
1976年	立花町名誉町民
1984年	1月28日 自宅にて永眠
1986年	田崎美術館閉館(軽井沢)
2016年	八女市田崎廣助美術館 開館